How to use

安全にお使いいただくために

使用できるお子さまの月齢

新生児 生後10 日頃 ／ 首がすわる 4ヵ月頃 ／ 24ヵ月頃（体重13kg）／ 36ヵ月頃（体重15kg）

❶新生児対面抱っこ

❷対面抱っこ（体重13kｇまで）

❸腰抱っこ（体重15kｇまで）

※お子さまの発育により同じ月齢でも体格や体重に個人差があります。

使用者の対応ウエストサイズ～140㎝位まで

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。また、取扱説明書（本書）は必ず保管してください。本製品を他のお客さまにお譲りになるときには、必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

材料・部材は十分に選別しておりますが、主なる素材が繊維であるため、使用頻度にもよりますがお使い始めてから約３年を耐用年数とお考えください。

警　告

誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 「新生児対面抱っこ」は首がすわる（4ヵ月頃）まで、「対面抱っこ」は体重 13kg まで、「腰抱っこ」は体重 15kg までとしてください。
- 使用中にバックルを外さないでください。また、確実に留まっていることを確認してください。
- 使用中に本体生地の結び目をほどかないでください。また、確実に結んであることを確認してください。
- お子さまを取り出す場合は必ず先にお子さまを外に出してください。バックル・結び目を先に外すと落下のおそれがあります。
- 使用の際は、本体生地が身体にフィットするように、締め付け具合を調節してください。
- 使用中に走ったり、跳んだり、極端な前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。
- お子さまがそり返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。
- 火気の近くで使用したり、製品を放置しないでください。
- 飛行機、車、自転車、バイクでは使用しないでください。
- 抱っこ時は、使用者の視界が妨げられたり、足元が見えにくくなりますので歩行時には充分注意してください。また階段等の段差のある場所では、お子さまの上体を正面から横にずらすなど、視界を確保してください。

注　意

誤った取扱いをすると、使用者が障害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。

- 授乳後 30 分以内や、連続 2 時間以上は使用しないでください。（お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります）
- 使用中にお子さまの気道をふさぐことがないなど、状態に注意してください。
- お子さまの乗せおろしは、安全な場所で行ってください。他の人に介添えいただくとより安全です。
- バックル開口部にお子さまが手指を入れないように注意してください。また製品を使用しないときも、バックルが開口してないよう、はめ込んでおいてください。
- ベルト先端の返し縫い部は、ほどいたり切り落としたりして使用しないでください。
- 使用前には、やぶれ、ほつれ、傷、またはバックルなどが破損していないか確認してください。破損している場合は使用を中止してください。
- 汗や水で湿った状態で強い摩擦をうけると、他に移染するおそれがあります。
- 直射日光のあたる場所に保管しないでください。（劣化や変色することがあります）

Wrap の進化系 PITTARi wrap

Wrap（ラップ）とは

ラップは欧米でスタンダードな抱っこひもです。使い方はシンプルで、長さ５m、幅 50㎝ほどの一枚生地を身体に密着させて巻くだけ。赤ちゃんとの距離感が縮まり、ほどよいフィット感を与えてくれます。まるでママのお腹の中に戻ったような感覚になり、落ち着き、すぐに眠ってしまう赤ちゃんもいます。そんなラップにもママを悩ませてしまう弱点があります。

【以下、実際に使用しているママの声、ネット口コミより】

- 長い生地が装着する時に地面を擦って汚れてしまう…
- 生地が長いので身体に装着するのが難しいし時間がかかる…
- 折りたたんでも生地が長いからコンパクトにならない…

PITTARi wrap（ピッタリラップ）とは

ピッタリラップ誕生には、双子のパパでもある開発者がラップに惚れ込んだところから始まります。抱っこしている時の娘との密着感、娘の重さを感じさせない楽さ、抱っこされている娘の表情、その全てが今まで使ってきた抱っこひもとは明らかに違うと感じました。しかし、日本では『ラップ』を見かける機会が少ないのも事実です。

「なぜこんなに良い抱っこひもが日本では広まらないのか…」

その答えは何度も使用していくうえで見つかっていきます…

- 生地が地面に擦って汚れる　● 使い方が難しく、装着するのに時間がかかる
- コンパクトにならず、持ち運びに不便

そう、彼の感じたこと全てが、実際に使用しているママの声、ネットでの口コミと一致したからです。そこからラップの改善が始まります。ラップの一番の良さである、フィット感、身体への負担が少ない、その快適さ、子どもが感じる居心地のよさ。その全てを引き継ぎ、悪いところを改善したい！そして何より…『この抱っこひもをたくさんの人に知ってもらいたい』。そんな思いから『ピッタリラップ』は誕生しました。

進　化

ピッタリラップは腰ベルトと収納袋をラップに組み合わせることにより進化した抱っこひもです。

『腰ベルト』＋『収納袋』＋『ラップ』＝ピッタリラップ

ここが進化しました

◎収納袋から生地が取り出せるから地面を擦らず汚れない……清潔

◎装着が簡単になる………時間短縮　◎生地を収納する袋がある…コンパクト

◎使用する生地の量が減る…ＥＣＯ

ラップに惚れ込んだ双子のパパから生まれた『進化系 Wrap』それが PITTARi wrap です。

ぜひ、その抱き心地を赤ちゃんと一緒に感じていただき、たくさんの人に共感していただければ幸いです。

PITTARi wrap

1. PITTARi wrap の結び方（基本編）

1 ピッタリラップをウエストの位置で留めます。
調節して余ったベルトはくるくる巻いて先端のゴムで留めておきます。

2 収納部から２本の生地を取り出し、左右の肩にそれぞれかけます。
【ポイント❶】生地がねじれないようにしてください。
【ポイント❷】生地がたるまないように体に密着させてください。

3 左右の肩にかけた生地を背中で交差させ、体の正面に持ってきます。
【ポイント❶】生地がねじれないようにしてください。
【ポイント❷】生地がたるまないように体に密着させてください。

4 正面に持ってきた生地は、持ち手をかえて体の前で交差させ、体の後ろで固く結びます。
【ポイント❶】生地がねじれないようにしてください。
【ポイント❷】生地がたるまないように体に密着させてください。
この生地が抱っこする時、お子さまの体を覆い保護します。

5 PITTARi wrap 結び方（基本編）の完了です。
手順①～④を終えて、写真のように生地が巻けていれば完了です。
【ポイント】体に巻いた生地が緩かったり、締めつけ過ぎた場合は、もう一度手順①からやり直してください。

チェックポイント
手順④で、生地の長さが足りず、体の後ろで結べない場合は左右どちらかに生地を寄せ、体の横でほどけないように固く結んでください。

チェックポイント
生地を結ぶときは、ほどけないように固く結んでください。蝶々結びなどの、ほどけやすい結び方は落下の危険がありますので、絶対にしないでください。

2. 新生児対面抱っこ（生後10 日頃～首がすわる（4ヵ月頃）まで

部位写真
- 体に一番近い生地
- 肩から胸にかかっている生地
- 最後にお子さまを覆う生地

・２本の生地の肩にかけた方向により、赤色と青色の生地は変わります。
・個人差により緑色の生地が１枚の場合と２枚の場合があります。（詳細は 1. PITTARi　wrap の結び方（基本編）より）

1 肩から胸にかかっている自分に一番近い生地を持ちます。（写真赤○）
お子さまを最初に入れる生地です。

2 お子さまを自分の胸の上を滑らせるように生地の中に入れます。この時、生地を広げて、お子さまのおしり・背中・肩をしっかりと覆います。

チェックポイント
新生児のお子さまの足が写真①のようにM字になるようにして中に入れてください。写真②のように足が伸びたり、膝がくっつくような状態は股関節脱臼の原因になる可能性がありますので絶対にしないでください。

3 もう片方の肩から胸にかかっている生地でお子さまのおしり・背中・肩をしっかりと覆います。（写真青○）

4 部位写真で緑○の生地を引っ張り、お子さまのおしり～背中を覆います。この時、緑○の生地が２枚ある場合は両方の生地でお子さまを覆ってください。

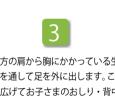
5 新生児対面抱っこの完了です。
お子さまの気道をふさぐことがないなど、状態に注意してください。首がすわっていないうちは、写真赤○のように生地を伸ばし、頭部を保護するとよりサポートできます。
お子さまの位置が下がってくる場合はもう一度きつく巻き直してください。伸縮性のある生地を使用していますので、少しきついくらいが目安です。

はずし方
ピッタリラップからお子さまを外に出す場合は、必ずお子さまを先に外に出してください。先に腰ベルトバックルをはずしたり、生地をほどいてしまうと落下の危険がありますので、絶対にしないでください。

3. 対面抱っこ（首がすわってから（4ヵ月頃）～24ヵ月（体重 13 kg）まで

部位写真
- 体に一番近い生地
- 肩から胸にかかっている生地
- 最後にお子さまを覆う生地

・２本の生地の肩にかけた方向により、赤色と青色の生地は変わります。
・個人差により緑色の生地が１枚の場合と２枚の場合があります。（詳細は 1. PITTARi　wrap の結び方（基本編）より）

1 肩から胸にかかっている自分に一番近い生地を持ちます。（写真赤○）
お子さまを最初に入れる生地です。

2 お子さまを抱き上げ、生地の中に片方の足を通して足を外に出します。この時、生地を広げて、お子さまのおしり・背中・肩をしっかりと覆います。

3 もう片方の肩から胸にかかっている生地の中に足を通して足を外に出します。この時、生地を広げてお子さまのおしり・背中・肩をしっかりと覆います。（写真青○）
【ポイント】この時、生地をお子さまの膝の裏まで覆い、足がM字になるようにしてください。

4 部位写真緑○の生地を持ち、写真のように生地を伸ばし、お子さまの足をくぐらせます。反対の足も同じようにくぐらせます。この時、緑○の生地が２枚ある場合は、２枚ともお子さまの足をくぐらせます。

5 お子さまの足をくぐらせた生地を上に伸ばし、おしり～背中を覆います。（写真緑○）

6 対面抱っこの完了です。
お子さまの位置が下がってくる場合はもう一度きつく巻き直してください。伸縮性のある生地を使用していますので、少しきついくらいが目安です。

はずし方
ピッタリラップからお子さまを外に出す場合は、必ずお子さまを先に外に出してください。先に腰ベルトバックルをはずしたり、生地をほどいてしまうと落下の危険がありますので、絶対にしないでください。

4. PITTARi wrap の結び方（腰抱っこ編）

1 ピッタリラップをウエストの位置で体の横に留めます。
調節して余ったベルトはくるくる巻いて先端のゴムで留めておきます。腰抱っこは体の左右どちらでもできます。
※説明書では体の右側で腰抱っこをする時の手順です。

2 収納部から２本の生地を取り出し、左右の肩にそれぞれかけます。
【ポイント❶】生地がねじれないようにしてください。
【ポイント❷】生地がたるまないように体に密着させてください。

3 左右の肩にかけた生地を背中で交差させ、体の正面に持ってきます。
【ポイント❶】生地がねじれないようにしてください。
【ポイント❷】生地がたるまないように体に密着させてください。

4 正面に持ってきた生地は、持ち手をかえて交差させ、体の横で固く結びます。
【ポイント❶】生地がねじれないようにしてください。
【ポイント❷】生地がたるまないように体に密着させてください。
この生地が抱っこする時、お子さまの体を覆い保護します。

5 PITTARi wrap 結び方（腰抱っこ編）の完了です。
【ポイント】体に巻いた生地が緩かったり、締めつけ過ぎた場合は、もう一度手順①からやり直してください。

チェックポイント
手順④で、生地の長さが足りず、体の横で結べない場合は手順③より、背中で交差させた生地を体の前に持っていき、ピッタリラップとは反対側（写真では体の左側）でほどけないように固く結んでください。
ピッタリラップを体の左側に装着した時、結び目は体の右側になります。

チェックポイント
生地を結ぶときは、ほどけないように固く結んでください。蝶々結びなどの、ほどけやすい結び方は落下の危険がありますので、絶対にしないでください。

5. 腰抱っこ（首がすわってから（4ヵ月頃）～36ヵ月（体重 15 kg）まで

部位写真
- 体に一番近い生地
- 肩から胸にかかっている生地
- 最後にお子さまを覆う生地

・２本の生地の肩にかけた方向により、赤色と青色の生地は変わります。
・個人差により緑色の生地が１枚の場合と２枚の場合があります。（詳細は 4. PITTARi wrap の結び方（腰抱っこ編）より）

1 肩から胸にかかっている自分に一番近い生地を持ちます。（写真赤○）
お子さまを最初に入れる生地です。

2 お子さまを抱き上げ、生地の中に片方の足を通して足を外に出します。この時、生地を広げて、お子さまのおしり・背中・肩をしっかりと覆います。

3 もう片方の肩から胸にかかっている生地の中に足を通して足を外に出します。この時、生地を広げてお子さまのおしり・背中・肩をしっかりと覆います。（写真青○）
【ポイント】この時、写真のように生地をお子さまの膝の裏まで覆い、足がM字になるようにしてください。

4 部位写真緑○の生地を持ち、写真のように生地を伸ばし、お子さまの足をくぐらせます。反対の足も同じようにくぐらせます。この時、緑○の生地が２枚ある場合は、２枚ともお子さまの足をくぐらせます。

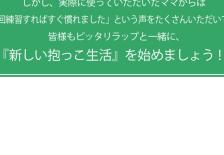
5 お子さまの足をくぐらせた生地を上に伸ばし、おしり～背中を覆います。（写真緑○）

6 腰抱っこの完了です。
お子さまの位置が下がってくる場合はもう一度きつく巻き直してください。伸縮性のある生地を使用していますので、少しきついくらいが目安です。

はずし方
ピッタリラップからお子さまを外に出す場合は、必ずお子さまを先に外に出してください。先に腰ベルトバックルをはずしたり、生地をほどいてしまうと落下の危険がありますので、絶対にしないでください。

6. ピッタリポイント

お子さまの頭を覆わないでください。
生地でお子さまの頭を覆いかぶせてしまうと窒息のおそれがありますので、必ずお子さまの頭は外に出し、状態が確認できるようにしてください。

適正な位置で抱っこしてください。
お子さまの位置が使用者さまのあごより下にある場合は安全な状態ではありません。お子さまのおでこにキスできるくらいの位置がピッタリラップの適正な抱っこ位置です。

コンパクト収納
収納する時は、生地を半分に折り、くるくる巻いて収納部へ収納します。とてもコンパクトにまとまります。

ピッタリラップを初めて使う場合は少し難しく感じるかもしれません。
しかし、実際に使っていただいたママからは
「2～3回練習すればすぐ慣れました」という声をたくさんいただいています。
皆様もピッタリラップと一緒に、
『新しい抱っこ生活』を始めましょう！

7. LUCKY とは

LUCKY

はじめの一歩は、抱っこです。

大切な赤ちゃんが生まれて、
パパ・ママがまず初めに行うこと。
それは抱きしめること。
まだ目が見えない赤ちゃんを安心させる
一番良い方法です。

赤ちゃんが大きくなってもパパ・ママに抱っこを
求めるのは、触れることが一番の安心と幸せに
つながっているからです。

今までも、そしてこれからも変わらない、
「抱きしめる」という親から赤ちゃんへの愛情。
そんな愛情がしっかり赤ちゃんに伝わるように、
ラッキー工業は抱っこひもを通して
パパ・ママのお手伝いをします。

お気軽にご相談ください。
ラッキー工業は70年以上抱っこひもを作り続けてきた、抱っこひものスペシャリスト。
抱っこひもの選び方や使い方など、お困りことがございましたらご連絡ください。
TEL.0585-45-7425

お手入れ方法

- 洗濯は水またはぬるま湯で手洗いし、手で弱く絞って陰干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。
- 素材および洗濯表示については、製品に縫い付けのラベルをご参照ください。

洗濯についてのご注意

- 色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。つけ置き洗いも避けてください。
- 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は使用しないでください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。

使い方にお困りの方はインターネットで検索してください。

ピッタリラップ　検 索

※安全基準等により、仕様が予告なしに変わることがあります。

製品には万全を期しておりますが、
お気づきの点がございましたら下記までご連絡ください。

LUCKY　ラッキー工業株式会社
〒503-2423 岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8　TEL.0585 -45-7425
SG基準認定工場 第 31-001号
ホームページアドレス　http://www.lucky-baby.co.jp